

活動を実施する中での気づき・発見（成果・効果）

LINE 相談は 10～20 代が 90%と、若年層の相談先として機能できるようになった。また、電話相談のときは 1 回の開設で 4～5 件の相談しか受けられなかったが、LINE では 20～30 件と、多くの相談を受けることができるようになった。

LINE 相談のよさは、全国どこからでも相談を受け付けられることにもある。地理的に LGBTQ のコミュニティに参加できない、あるいは参加するエネルギーをもたない若年層にとって、これまで誰にも打ち明けられなかった悩みを聞いてもらえる唯一の場所となっている。また、LINE 相談は文字でのやりとりになるため、相談後にはやりとりの記録を電子カルテとして保存・共有することが容易であることもメリットである。

相談員に謝金を払うことにより意識を持って取り組んでもらうことができようになり、相談員の早期離脱も減った。拠点を確保したことで安定して相談事業を行えるようになった。実績報告会の実施や報告書の作成で、より多くの支援団体、行政に同事業を周知できた。

課題、今後取り組もうとしていること（展望）

今は月 2 回という限られた時間しか相談を行うことができず、もっと回数や時間を増やしてほしいという声もある。より多くの時間相談を受け付けるためには相談員の増員が必要であり、ホームページなどで募集をかけている。

また、助成金の終了後、資金を確保し持続的な活動につなげるためにも、作成した報告書などを用いて教育機関や支援相談機関などに活動を伝え、より多くの応援者・会員を創出していく必要があると感じている。

当法人のみでなく、さまざまな支援団体や自治体がセクシュアル・マイノリティの相談支援を行うことで、いずれ毎日どこかに必ずつながり、相談を受けられるような社会を目指し、活動していきたい。



アクセス先を裏に明示した相談カード



イベント等で
レイノボーグッズの販売も
行っている

活動内容に関する問い合わせ先

特定非営利活動法人 北海道レイノボー・リソースセンター-L-Port 代表理事 中谷衣里
メール：lgbs2017@yahoo.co.jp